

牛の予防接種（令和8年度・春夏用）

（公社）静岡県畜産協会

ワクチン	疾病発生時期・主な症状	注射実施時期	注 射 方 法	料金；税込み (1頭・1回当り)
アカバネ病（生）	<ul style="list-style-type: none"> ・発生時期 夏から晩秋にかけて発生する。 ・主な症状 流産、死産、早産、子牛の前肢湾曲、斜頸、脊髄のS字状湾曲、盲目、大脳欠損（母牛は無症状） 	蚊から感染するので、蚊の発生の1ヶ月前から蚊の発生が終息するまでの間。1回目を3月～8月頃。	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての牛は、4週間隔で2回、その後は年1回。（2回目を蚊の発生の1ヶ月前に終えていることが望ましい） ・ウイルスは妊娠牛の胎子で増殖して流産などを起こすことが特徴なので、蚊の発生時期に妊娠する牛に対して予防接種が有効。（このワクチンは、イバラキ病生ワクチンと同時注射すると効果が抑制されるので、イバラキ病生ワクチンとは2週間以上の間隔をおく。） <p>繁殖牛：—— ——^{1回目}——^{4週間}—— ——^{2回目}——^{以後}—— ——> 3月～8月 4月～9月 年1回</p>	1,639円
牛異常産3種混（不活化） （アカバネ病・チュウザン病・アイノウイルス）	<ul style="list-style-type: none"> ・発生時期 上記アカバネ病と同じ ・主な症状 上記アカバネ病に加え、起立不能、てんかん様、 	3月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・4週間隔で2回、筋肉内に注射。 ・蚊の活動によっておこる流行期の前に最終注射を終るること。 ・前年に本ワクチンを注射した牛には、1回注射する。 <p>繁殖牛：—— ——^{1回目}——^{4週間}—— ——^{2回目}——^{流行期}………^{1回}—— ——> 3～7月 翌年から毎年</p>	牛異常産3種 1,639円
牛異常産4種混（不活化） （アカバネ病・チュウザン病・アイノウイルス、ピートンウイルス）				牛異常産4種 1,749円
イバラキ病（生）	<ul style="list-style-type: none"> ・発生時期 夏から秋にかけて発生する。 ・主な症状 嚥下障害、結膜の充血・浮腫、膿様鼻汁、泡沫性流涎、鼻口腔粘膜の潰瘍・糜爛、死流産 	同上	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての牛は、4週間隔で2回、その後は年1回。（2回目は蚊の発生1ヶ月前に終えていることが望ましい） （このワクチンは、アカバネ病生ワクチンと同時注射するとアカバネ病生ワクチンの効果を抑制するので2週間以上の間隔をおく。） <p>—— ——^{1回目}——^{4週間}—— ——^{2回目}——^{以後}—— ——> 3月～8月 4月～9月 年1回</p>	803円
牛流行熱・イバラキ病混合（不活化）	<ul style="list-style-type: none"> ・発生時期 夏から晩秋にかけて発生する。 ・主な症状 高熱、呼吸促迫、泡沫流涎、関節炎、跛行、窒息死 	同上	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての牛は、4週間隔で2回、その後は年1回。（2回目は蚊の発生1ヶ月前に終えていることが望ましい） （イバラキ病と同じ） <p>—— ——^{1回目}——^{4週間}—— ——^{2回目}——^{以後}—— ——> 3月～8月 4月～9月 年1回</p>	880円
牛のボツリヌス症 “京都微研” キャトルウイン B02	乳牛、肉牛、月齢を問わず発症します。突然の起立不能、腹式呼吸、食欲廃絶、便秘等の症状を示し高い割合で死亡し被害も大きい。	年間	<ul style="list-style-type: none"> ・1mlを2か月齢以上の牛の筋肉内に4週間隔で2回注射する ・妊娠牛には注射しないこと <p>—— ——^{1回目}——^(4週間隔)—— ——^{2回目}——^{以後}—— ——> (2ヶ月齢以上) 年1回</p>	1,298円

豚の予防接種

(令和8年度・春夏用)

(公社)静岡県畜産協会

ワクチン	疾病発生時期・主な症状	注射実施時期	注射方法	料金:税込 (1頭・1回当り)
日本脳炎・豚パルボ混合 (生)	<ul style="list-style-type: none"> 発生時期 季節に関係なく発生する(パルボ)。夏季に多発の傾向。ウイルスの動きが毎年確認されている。 主な症状 死産、異常産、造精機能障害、神経症状 	3月～9月	・繁殖豚に対して、1回注射。 繁殖豚：——— ———> 1回 3月～9月	1,430円
日本脳炎(不活化)	<ul style="list-style-type: none"> 発生時期 夏季に多発の傾向。ウイルスの動きが毎年確認されている。 主な症状 上記日本脳炎・パルボ混に同じ 	3月～8月	・繁殖豚に対して、4週間隔で2回注射。 繁殖豚：——— ——— ———> 1回目 4週間 2回目 3月～7月 4月～8月	616円
日本脳炎・豚パルボ混(生) + 日本脳炎(不活化)	<ul style="list-style-type: none"> 発生時期 季節に関係なく発生する(パルボ)。夏季に多発の傾向。ウイルスの動きが毎年確認されている。 主な症状 上記日本脳炎・パルボ混に同じ 	3月～9月	・繁殖豚に対して、1回目に「日本脳炎・パルボ混(生)」を、1ヵ月後、2回目に「日本脳炎(不活化)」を注射。 繁殖豚：——— ——— ———> 1回目 4週間 2回目 3月～8月 4月～9月	(2回セット) 2,046円
豚伝染性胃腸炎・ 豚流行性下痢混合(生)	<ul style="list-style-type: none"> 発生時期 季節に関係なく発生する。冬季に多発の傾向。 主な症状 食欲不振、元気消失、(嘔吐)、水様性下痢 	年間	妊娠豚に対して、4ないし8週間の間隔(日生研)、約3週間間隔(化血研)で2回注射する。2回目の分娩予定日の約2週間前に注射。 妊娠豚：——— ——— ——— ——— ———○———> 1回目 4～8週間(日生研) 2回目 2週間 分娩 3週間(化血研)	(2回セット) 2,046円